

(介護予防・日常生活支援総合事業)通所介護 料金表 (1割負担)

1 通所介護サービス費(1割自己負担分)

金額はおよその額です。

1単位=10.27円

基 本	介 護 度	3時間以上5時間未満	5時間以上7時間未満	7時間以上9時間未満
	要介護1	390 円 (380 単位)	587 円 (572 単位)	673 円 (656 単位)
要介護2	447 円 (436 単位)	694 円 (676 単位)	795 円 (775 単位)	
要介護3	506 円 (493 単位)	801 円 (780 単位)	1,015 円 (989 単位)	
要介護4	562 円 (548 単位)	907 円 (884 単位)	1,048 円 (1,021 単位)	
要介護5	621 円 (605 単位)	1,014 円 (988 単位)	1,174 円 (1,144 単位)	

※ 当事業所は通常規模型通所介護費の金額です。

	項 目	単 位	およその金額	備 考
加 算	サービス提供体制強化加算(Ⅰ)	12 単位/日	12 円/日	
	入浴介助加算	50 単位/日	51 円/日	入浴された方
	個別機能訓練加算(Ⅰ)	46 単位/日	47 円/日	利用日の職員配置により(Ⅰ)(Ⅱ)いずれか一方の加算を算定する場合、または(Ⅰ)(Ⅱ)両方の加算を算定する場合があります。
	個別機能訓練加算(Ⅱ)	56 単位/日	57 円/日	
	認知症加算	60 単位/日	61 円/日	事業所が算定条件を満たした場合、対象の方のみ
	中重度ケア体制加算	45 単位/日	46 円/日	事業所が算定条件を満たした場合
	若年性認知症利用者受入加算	60 単位/日	61 円/日	対象の方のみ
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	所定単位数(基本+加算) × 40 /1,000単位			

2 介護予防並びに日常生活支援総合事業 通所介護サービス費(1割自己負担)

金額はおよその額です。

1単位=10.27円

介 護 度	基本単位	サービス提供体制強化加算Ⅰ	備考
要支援1	1,647 単位/月(1,691 円)	48 単位/月(49 円)	
要支援2	3,377 単位/月(3,468 円)	96 単位/月(98 円)	

	項 目	単 位	備 考
加 算	運動機能向上加算	225 単位/月(231 円)	運動機能向上サービスのみ対象の方
	若年性認知症利用者受入加算	240 単位/月(246 円)	対象の方のみ
	事業所評価加算	120 単位/月(123 円)	事業所が加算対象となった年度
	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	所定単位数(基本+加算) × 40 /1,000単位	

3 その他の料金

料金の種類	単 位	備 考
時間延長サービス9時間以上10時間未満	50 単位/回(51 円)	※夕食をご希望の場合は、別途 500円
時間延長サービス10時間以上11時間未満	100 単位/回(102 円)	

4 事業所が送迎を行わない場合の減算

料金の種類	単 位	備 考
送迎を行わない場合の減算	47 単位/回(48 円)	事業所が送迎を実施しない場合、片道につき

【要介護の方の計算例】要介護1で、ひと月に4回(1日7時間)利用の場合の利用額	
・基本利用単位	656 単位 × 4回 = 2,624 単位
・サービス体制強化加算Ⅰ	12 単位 × 4回 = 48 単位
・入浴加算	50 単位 × 4回 = 200 単位
・個別機能訓練加算Ⅰ、Ⅱ	102 単位 × 4回 = 408 単位
	総単位 3,280 単位
・介護職員処遇改善加算(総単位の4.0%分)	3,280 単位 × 4.0 % = 131 単位(小数点以下第1位を四捨五入)
金額にすると、	(3280単位+131単位) × 10.27円 = 35,030 円(小数点以下を切り捨て)
利用者様負担分(1割分)は、	35030円-35030円 × 0.9(小数点以下を切り捨て) = 3,503 円

【要支援の方の計算例】要支援1で、平成27年度事業所評価加算対象外の場合	
・基本単位	1,647 単位
・サービス体制強化加算Ⅰ	48 単位
・運動器機能向上加算	225 単位 = 1,920 単位(1月の総単位)
・処遇改善加算(総単位の4.0%分)	1,920 単位 × 4.0 % = 77 単位(小数点以下第1位を四捨五入)
金額にすると、	(1920単位+77単位) × 10.27円 = 20,509 円(小数点以下を切り捨て)
利用者様負担分(1割分)は、	20509円-20509円 × 0.9(小数点以下を切り捨て) = 2,051 円

(介護予防・日常生活支援総合事業)通所介護 料金表 (2割負担)

平成27年8月1日

1 通所介護サービス費(2割自己負担分)

金額はおよその額です。

1単位=10.27円

基 本	介 護 度	3時間以上5時間未満	5時間以上7時間未満	7時間以上9時間未満
	要介護1	780 円 (380 単位)	1,174 円 (572 単位)	1,347 円 (656 単位)
要介護2	895 円 (436 単位)	1,388 円 (676 単位)	1,591 円 (775 単位)	
要介護3	1,012 円 (493 単位)	1,602 円 (780 単位)	2,031 円 (989 単位)	
要介護4	1,125 円 (548 単位)	1,815 円 (884 単位)	2,097 円 (1,021 単位)	
要介護5	1,242 円 (605 単位)	2,029 円 (988 単位)	2,349 円 (1,144 単位)	

※ 当事業所は通常規模型通所介護費の金額です。

	項 目	単 位	およその金額	備 考
加 算	サービス提供体制強化加算(Ⅰ)	12 単位/日	24 円/日	
	入浴介助加算	50 単位/日	102 円/日	入浴された方
	個別機能訓練加算(Ⅰ)	46 単位/日	94 円/日	利用日の職員配置により(Ⅰ)(Ⅱ)いずれか一方の加算を算定する場合、または(Ⅰ)(Ⅱ)両方の加算を算定する場合があります。
	個別機能訓練加算(Ⅱ)	56 単位/日	115 円/日	
	認知症加算	60 単位/日	123 円/日	事業所が算定条件を満たした場合、対象の方のみ
	中重度ケア体制加算	45 単位/日	92 円/日	事業所が算定条件を満たした場合
	若年性認知症利用者受入加算	60 単位/日	123 円/日	対象の方のみ
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	所定単位数(基本+加算) × 40 /1,000単位			

2 介護予防並びに日常生活支援総合事業 通所介護サービス費(2割自己負担)

金額はおよその額です。

1単位=10.27円

介 護 度	基本単位	サービス提供体制強化加算Ⅰ	備考
要支援1	1,647 単位/月(3,382 円)	48 単位/月(98 円)	
要支援2	3,377 単位/月(6,936 円)	96 単位/月(197 円)	

	項 目	単 位	備 考
加 算	運動機能向上加算	225 単位/月(462 円)	運動機能向上サービスのみ対象の方
	若年性認知症利用者受入加算	240 単位/月(492 円)	対象の方のみ
	事業所評価加算	120 単位/月(246 円)	事業所が加算対象となった年度
	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	所定単位数(基本+加算) × 40 /1,000単位	

3 その他の料金

料金の種類	単 位	備 考
時間延長サービス9時間以上10時間未満	50 単位/回(102 円)	※夕食をご希望の場合は、別途 500円
時間延長サービス10時間以上11時間未満	100 単位/回(205 円)	

4 事業所が送迎を行わない場合の減算

料金の種類	単 位	備 考
送迎を行わない場合の減算	47 単位/回(96 円)	事業所が送迎を実施しない場合、片道につき

【要介護の方の計算例】要介護1で、ひと月に4回(1日7時間)利用の場合の利用額	
・基本利用単位	656 単位×4回= 2,624 単位
・サービス体制強化加算Ⅰ	12 単位×4回= 48 単位
・入浴加算	50 単位×4回= 200 単位
・個別機能訓練加算Ⅰ、Ⅱ	102 単位×4回= 408 単位
	総単位 3,280 単位
・介護職員処遇改善加算(総単位の4.0%分)	3,280 単位× 4.0 % = 131 単位(小数点以下第1位を四捨五入)
金額にすると、	(3280単位+131単位)×10.27円= 35,030 円(小数点以下を切り捨て)
利用者様負担分(2割分)は、	35030円-35030円×0.8(小数点以下を切り捨て) = 7,006 円

【要支援の方の計算例】要支援1で、平成27年度事業所評価加算対象外の場合	
・基本単位	1,647 単位
・サービス体制強化加算Ⅰ	48 単位
・運動器機能向上加算	225 単位 = 1,920 単位(1月の総単位)
・処遇改善加算(総単位の4.0%分)	1,920 単位× 4.0 % = 77 単位(小数点以下第1位を四捨五入)
金額にすると、	(1920単位+77単位)×10.27円= 20,509 円(小数点以下を切り捨て)
利用者様負担分(2割分)は、	20509円-20509円×0.8(小数点以下を切り捨て) = 4,102 円